

# 岡山大学

# 知財フォーラム

## 2009 第③回

— 国際化する知財活動に向けて —

日時 **11月18日(水) 13:30~16:00**

会場 岡山駅西口 岡山市デジタルミュージアム  
4階 講義室

講師 ■ 広島大学 教授 産学連携センター知的財産企画部門長 **橋本律男氏**

「広島大学の国際的な産学官連携活動と大学知財の活用」

■ 日本知的財産協会 参与 (前理事長)  
桃太郎源株式会社 取締役

**神杉和男氏**

「製薬企業の国際知財戦略」

対象 特許・知的財産にご関心のある学生・院生・教職員・一般の方どなたでも結構です。

入場料 無料 (先着 50名)

受付

知財本部：渡邊 裕 ① なお、参加人数把握のため、事前に参加登録いただけますと幸いです。

E-mail: [wzutaka@cc.okayama-u.ac.jp](mailto:wzutaka@cc.okayama-u.ac.jp)

TEL: 086-251-8472

## 講演詳細内容

### 「広島大学の国際的な産学官連携活動と大学知財の活用」 橋本 律男氏

広島大学が平成 20 年度から推進している国際産学官連携活動についての取り組み状況の全般を紹介する。また、大学の知的財産のグローバルな活用のためには、活用先の地域特性、適用製品分野の特性を考慮した取り組みが必要であり、その考え方や実現のための方策、活動内容等について広島大学の事例を紹介する。本活動は文部科学省からの委託業務である戦略展開プログラムの一環として実施しているものである。

### 「製薬企業の国際知財戦略」 神杉 和男氏

新薬の研究開発を進める製薬企業にとって、知的財産は企業の生命線とも言うべきものである。知的財産権による保護がなければ、膨大な研究開発費を投じて開発した新薬も直ちに他社との競争にさらされるところとなり、研究開発費の回収も利益もあげられない。さらに、膨大な研究開発費の回収のためには国内だけでなく、国際的な市場、即ち海外でも開発した新薬を販売することが必須である。従って、製薬業界における知的財産戦略は、各産業界のなかでも最もシビアでかつ国際的なものである。本講演では製薬企業における国際的な知的財産戦略、特に発明の発掘、国内外への出願戦略、権利化、侵害対策、権利行使、各国侵害訴訟の特徴等について解説する。

## 交通案内



岡山駅西口・リットシティビル正面のエスカレーターをご利用のうえ、4階へとお上がりください。

受付

〒700-8530 岡山市北区津島中1丁目1番1号

岡山大学 知財本部：渡邊 裕

E-mail:wyutaka@cc.okayama-u.ac.jp

TEL:086-251-8472